

# OSMO

## インテリジェントバッテリー 安全ガイドライン

V1.0 2015.10



## 注記

当文書およびこれに付属する他の文書は、DJI のみの裁量により、変更されることがあります。製品の最新情報については、<http://www.dji.com> から当製品の製品ページをクリックして参照してください。

## 用語

当製品に関する文書では、当製品操作中に引き起こされる可能性のある損害のレベルを、以下の用語で示します：

**警告** 警告：明記された手順に従わない場合、物的損害、付帯的損害、重大な怪我につながる可能性、もしくは、軽度の怪我を引き起こす高い可能性があります。

**注記** 注記：明記された手順に従わない場合、物的損害につながる可能性があり、また、怪我につながる可能性はないか、もしくは軽傷につながる可能性があります。

### 警告

当製品を操作する前に、当製品の機能に習熟するために、Osmo ユーザーマニュアルをお読みください。製品を正しく操作しなかった場合、製品および個人の財物への損害、および、重大な怪我を引き起こす可能性があります。

当製品は精密機器です。当製品を操作するときは、適切な配慮と常識を以て操作してください。また、基本的な機械の知識も必要になります。当製品を安全で責任感のある方法で操作しない場合、怪我や、製品またはその他の財物の破損につながります。

大人の直接的な監視の下でない限り、当製品を子供に操作させないでください。当製品に非対応の部品を使用しないでください。また、SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD が提供する文書に明記されていない方法で改造しないでください。

当安全ガイドラインには、安全および操作、メンテナンスに関する注意事項が明記されています。製品を正しく使うため、また破損や重大な怪我を防ぐために、組み立て、セットアップ、使用前に、必ず、ユーザーマニュアルに記載されたすべての指示と警告を熟読し、遵守してください。

## 警告

発火や重大な怪我、物的損害を防ぐために、当製品を使用、充電、保管する際には、以下の安全ガイドラインを遵守してください。

### バッテリーの使用

1. バッテリーが液体に触れないようにしてください。バッテリーを 雨の中や湿気の発生源の近くに放置しないでください。バッテリーを水の中に入れてください。バッテリーの内部が水に接触すると、化学分解が起こり、バッテリーが発火したり、さらには爆発を引き起こす可能性があります。
2. バッテリーを誤って水の中に落としてしまった場合、すぐに安全な空き地に置いてください。バッテリーが完全に乾くまで、バッテリーとの安全な距離を保ってください。決してバッテリーを再利用せず、後述の“バッテリーの処分”の項目に記載された指示に従って、適切に処分してください。
3. バッテリーの発火は、水または砂、消火用毛布、粉末消火器を使用して消火してください。
4. 絶対にDJI製以外のバッテリーを使用しないでください。DJI製のバッテリーは [www.dji.com](http://www.dji.com) から購入できます。DJI製以外のバッテリーの使用により引き起こされたいかなる損害に対しても、DJIは責任を負いません。
5. 漏れ、膨張、破損の生じたバッテリーは、絶対に使用および充電しないでください。もしあなたのバッテリーに異常を発見した場合、DJI または DJI 正規代理店にご連絡ください。
6. バッテリーは、-10℃～50℃の環境でご使用ください。50℃を超える環境でバッテリーを使用すると、発火や爆発を起こす可能性があります。
7. 強い静電気または電磁気環境下でバッテリーを使用しないで下さい。そのような環境下で使用した場合、バッテリーの制御盤が誤作動する可能性があります。
8. 絶対にバッテリーを分解したり、穴を空けたりしないでください。漏れや発火、爆発の原因となります。
9. バッテリーを落としたりたいたりしないでください。バッテリーおよび充電器の上に重いものを置かないでください。
10. バッテリー内部の電解液は非常に腐食しやすいものです。

もし電解液が目や皮膚に接触した場合は、接触した部位を、最低 15 分以上、大量の水で洗い流し、医師の診察を受けてください。

11. 落下やその他のアクシデントにより、衝撃を受けたバッテリーは絶対に使用しないでください。
12. バッテリーを加熱しないでください。バッテリーを電子レンジや圧力容器のなかに入れてください。
13. 取り外したバッテリーを金属のテーブルなど導電性のある場所に置かないでください。
14. バッテリーを手作業で短絡させないでください。
15. バッテリー端子の汚れを落とすときは、きれいな乾いた布を使用してください。

## バッテリーの充電

1. バッテリーをコンセントや車載充電器に直接つながないでください。常に DJI 製のアダプターを使用してください。DJI 製以外のアダプターで充電した場合、DJI はいかなる責任も負いません。
2. 充電中のバッテリーを放置しないで下さい。可燃性の物の近く、またはカーペットや木製の素材など可燃性の物の上で充電をしないでください。
3. 使用直後のバッテリーは非常に高温になっているため、使用後すぐに充電しないでください。バッテリーの温度が室温近くまで下がる前に、充電しないようにしてください。バッテリーを 15°C ~ 40°C の範囲外の温度の時に充電しないでください。15°C ~ 40°C の範囲外の温度の時に充電した場合、漏れや過熱、バッテリー破損につながる可能性があります。
4. 使用しないときは充電器から外してください。定期的に充電器のコードやプラグ、筐体、その他の部品に破損がないか確認して下さい。充電器を変性アルコールや可燃性の溶剤を使用して拭かないでください。破損した充電器は絶対に使用しないでください。

## バッテリーの保管

1. バッテリーは子供やペットの手の届かない所に保管してください。
2. バッテリーを暖房炉やヒーターなどの熱源の近くに放置しないでください。気温の高い日に、車の中にバッテリーを放置しないでください。理想的な保管温度は 22°C ~ 28°C です。

3. バッテリーを乾燥した状態に保ってください。
4. バッテリーを完全に放電した状態で長期間保管しないでください。過放電の原因となり、劣化につながります。

## バッテリーのメンテナンス

1. 気温が非常に高い、または低い時は、絶対にバッテリーを使用しないでください。
2. 気温が 60℃超の環境にバッテリーを保管しないでください。

## 旅行時の注意

1. インテリジェントバッテリーを飛行機に持ち込む際は、完全に放電してください。放電は必ず耐火性の場所で行ってください。インテリジェントバッテリーは換気された場所に保管してください。
2. バッテリーを、眼鏡や時計、宝石、ヘアピンなど、金属性の物の近くに置かないでください。
3. 破損しているバッテリーまたは充電残量が 50%より高いバッテリーを持ち運ばないでください。

## バッテリーの処分

バッテリーは、必ず完全に放電した後に、指定されたりサイクルボックスに廃棄してください。普通のごみ箱には絶対に入れないでください。あなたの地域のバッテリーの処分およびリサイクルに関する法令に厳格に従って処分してください。

### 注記

## バッテリーの使用

使用の前にバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。

## バッテリーの充電

インテリジェントバッテリーはフルに充電されると充電を中止するように設計されていますが、充電の過程を見守り、フルになったら充電器からバッテリーを取り外すようにするのがより望ましいです。

## バッテリーの保管

1. 10 日以上使用しないときは、バッテリーを 40% ~ 65%

まで放電してください。これによりバッテリーの寿命を大幅に伸ばすことができます。

2. バッテリーは、充電を使い切ったり、長期間使用しないでいると、直接使用が不可となるハイバネーションモードに入ります。ハイバネーションモードから復帰するためにはバッテリーを再充電してください。
3. 長期間保管するときは、ジンバルからバッテリーを取り外してください。

## バッテリーのメンテナンス

1. 絶対に過放電しないでください。バッテリーセルを傷める原因になります。
2. 長期間使用しないと、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。
3. バッテリーを良いコンディションに保つため、3か月に一回、バッテリーの完全放電とフル充電を行ってください。

## バッテリーの処分

インテリジェントバッテリーを完全に放電することができない場合は、バッテリーの処分/リサイクルを行う業者にご相談ください。

This content is subject to change.

Download the latest version from  
[www.dji.com/support](http://www.dji.com/support)



If you have any questions about this document, please contact DJI by sending a message to [DocSupport@dji.com](mailto:DocSupport@dji.com).